

2018年11月13日

佐世保市長 朝長則男様
佐世保市水道局長 谷本薫治様

佐世保の水と石木ダムを考える市民の会
世話人 山本了三

水問題に関する市民説明会開催の要望書

私たちは石木ダムの報道に接する中で、佐世保市の水事情と石木ダムについてあらためて考えようと、昨年3月から市内各地域の市民の皆さんと勉強会を重ねてきました。

水事情について水道局からの説明を聞きたいと勉強会開催のたびに案内を差し上げましたが、石木ダム建設に対しての裁判審理中であり、水道局だよりやホームページを参照にしていきたいとの欠席の返事を毎回いただいてきました。そこで勉強会では、市当局作成の石木ダムに関する広報記事などを資料として出席者に配布しました。また、石木ダム関連につきましても、推進・反対双方の考え方を聞きたいとの思いで市議会石木ダム建設促進特別委員会や建設促進市民の会に案内いたしましたが、出欠の連絡すらいただけませんでした。

回を重ねる勉強会で参加された市民の皆さんからは、「水道局から直接話を聞いて、質問をしたかった」「石木ダムについてはテレビや新聞では時々伝えられるが、どうなっているのか説明を聞きたかった」「今のままでは水が足りないのか。水道代はこれからどうなるのか水道局に聞くつもりだった」などの声があがっています。また、勉強会の中で出されてきた施設の老朽化について私たちも3月市議会で、「水道施設の早期更新・整備を求める」請願を審査して頂きましたが、委員会・本会議ともに不採択となりました。

そうした中、広報させば5月号において「市長日記」のコーナーで「老朽化した佐世保市のダム」と題し、石木ダムの必要性を市長自らが訴えられています。6月号からは「佐世保の水事情と石木ダム」のシリーズが始まりました。

私たちがこれまで行ってきた勉強会には裁判の審理中ということで参加されませんでした。佐世保市の水事情や施設について説明が行われています。このような状況を直接話していただけないかとお願いをしてきたところであり、広報誌を通じての一方的な周知は残念ではありません。

20年以上前の大洪水を経験されていない方々や旧北松地区の市民の皆さんに対しても十分な説明と理解をいただくために、各地域で市民の疑問、質問に直接応える市民説明会を開催して下さるようお願い致します。